中國新聞

発行所 広島市中区土橋町7番1号 郵便番号733
中國新聞社
電話(082)236-2111(受付案内台)
郵便振替口座 広島7-57番
©中國新聞社 1985

広島被爆40周年

核廃絶 米ソに英断迫る

平和祈念式で荒木市長宣言

「世論の喚起へ連帯」

老いる被爆者、援護急務

ヒロシマは改めて一切の核兵器を拒否し、平和への限りない前進を誓う―広島市の荒木武市長は六日、平和記念公園で開いた被爆四十周年の原爆死没者慰霊式・平和祈念式で「四十年以降」への強い決意を表明した。なかでも、若い人たちへのヒロシマの継承と、国を超えた都市と市民の連帯を呼びかけた。しかし、被爆者の老齢化が加速度的に進み、援護の問題がいよいよ切実さを増している実態はおおい隠せない。被爆者だけでなく、市民の幅広い理解のもと、国を動かす世論づくりもヒロシマの大きな課題である。（夕刊一部既報）【2・3・4・18・19面に関連記事】

平和宣言の中で荒木市長は、「がれきと化した広島の街に立ったわれわれは、核兵器で争う戦争は人類の破滅と文明の終えんにつながると予見し、核兵器の廃絶をひたすら訴え続けてきた」とヒロシマの心が悲惨な体験に基づいていることを強調。米ソに核廃絶の英断を求めるとともに、被爆の実相を一層広めることこそ、核兵器廃絶への大きな力になると改めて訴えた。

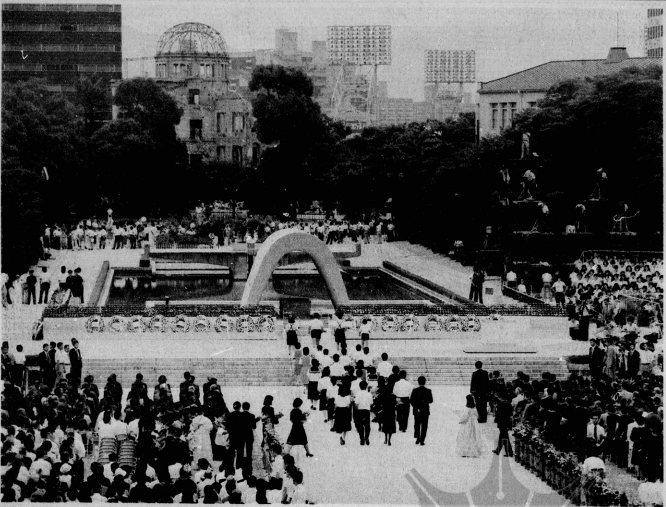
ヒロシマの拡大の道として、荒木市長は平和宣言で「世界の青少年が、ヒロシマの心を受け継ぐこと」に期待をかけた。だが、若者の文化やスポーツの交流は民間にゆだねることの方が多く、被爆の実相の普及と合わせた計画的な交流は少ない。民間の協力も得ながら、世界の青少年交流に向けての広島独自のプログラムづくりが必要になっている。

同時に、ことし第一回会議の開催にこぎつけた世界平和連帯都市市長会議の思想をどう具体化していくかも、実相の普及には欠かせない要素である。国境を超えた都市の連帯は、結局、市民の連携となってヒロシマを広め、核保有国への包囲網を張りめぐらす道も開けてくるはずだ。

一方でヒロシマには、被爆者の援護を一層進め、抜本的対策に向けて国に働きかけなければならない責務がある。

平和宣言が「国家補償の精神に基づく画期的な被爆者援護対策」を求めたのに対し、平和祈念式に参列した中曽根首相は記者会見で「被爆者援護法の必要はない。現行の原爆二法で対応できる」と反応を見せなかった。

今秋、国が初めて実施する死没者調査を受け、画期的な援護策をどう国に求めていくのか。この緊急課題に向けて、被爆者団体とも手を携えた原点からの訴えをもう一度掘り起こす努力が求められる。



届け！ヒロシマの心

核兵器廃絶と真の被爆者援護へ向けて新しい第一歩を踏み出したヒロシマ。平和祈念式には過去最高の5万5千人が参列し、「ノーモア・ヒロシマ」を誓った

きょうの紙面

≪20ページ≫

全米で反響、祈念式TV生中継（18面）

ヒロシマひろばアピール採択（2面）
米、終戦後に対ソ核攻撃計画（4面）
途上国へも衛星軌道割り当て（7面）
……
赤ヘル連敗、首位の座ピンチ（12面）
高校野球、広島工は日立一と（13面）
釣り帰り正面衝突し4人死亡（19面）

英国に生まれて二七五年。トワイニングの歴史は、高級紅茶の歴史です。
TWININGS
片岡物産

「1％枠撤廃は白紙」

首相 月内決定を事実上断念

広島市の原爆死没者慰霊・平和祈念式に出席した中曽根首相は六日午前、同市内のホテルで記者会見した。

この中で首相は、防衛庁が策定中の五九中期業務見積もりの政府計画格上げによる防衛費の国民総生産（GNP）比一％枠撤廃問題について「私は〝新計画にする〟と積極的に意思表示したことはない。現在五九中業の作業中で、蔵相、防衛庁長官、官房長官の三人で検討、協議しており、この結果を踏まえて、考えを逐次、まとめたい」と述べ、一％枠問題も含めて「現在白紙だ」と強調した。

さらにGNP一％枠見直しについて「慎重に手続きを尽くしてやりたい。その意味で、現在三閣僚で協議している五九中業をもう少し勉強し、防衛庁や自民党からも意見を聞いた上、政府と党が一体となって検討したい。現在、どうこうするということを決めておらず、これも白紙の状態だ」と、慎重な姿勢で臨むことを明らかにした。

現在、政府は八月中に①五九中業を、防衛費総額を明示した新五カ年計画に格上げする②これに伴い一％枠は撤廃する―との方向で、自民党側との調整を進めている。六日の首相発言はこの二点のいずれについても、極めて慎重に扱うことを強調し、事実上、八月に閣議や国防会議で決定する手続きをとることを断念したものである。

また、首相はこの問題の扱いについて「政府、（自民）党一体」での処理を表明したのも、鈴木前首相ら首相経験者を中心とした一％枠撤廃への慎重論に十分配慮する姿勢をみせたものである。

中曽根首相は、閣僚の靖国神社公式参拝問題について「靖国懇談会で大詰めの論議をしており、近く意見の表明があるので、これをよく検討した上で、自民党とも相談して扱いを決めていきたい」と語った。十五日の終戦記念日に公式参拝に踏み切るかどうかについては「今までと同じ立場で臨む」と述べた。

また、公式参拝は違憲ではないか、という指摘に対し「違憲（の行動）をやるという考えはない。首相のやる（べき）ことは、憲法に従ってやる」と述べた。

臨時国会開催問題では「通常国会が終わった時と全く同じ白紙の状態だ。臨時国会を開く必要性が出てきた段階で、与野党と相談の上、決めたい」と述べるにとどまった。

手順踏んで慎重に対処

1％枠で4閣僚協議

藤波官房長官、竹下蔵相、安倍外相、加藤防衛庁長官の四閣僚は六日夕首相官邸で、防衛庁が作成中の五九中期業務見積もりの政府計画への格上げ問題と防衛費の対国民総生産（GNP）比一％枠の取り扱いを中心に協議した。

この結果、特に一％枠の撤廃問題については、藤波、加藤両長官がこれまでに会談した鈴木前首相、三木元首相の強い慎重論を受け「自民党内の意見を十分に聞き、手順を踏んで慎重に対処する」との基本姿勢で意見が一致した。

これに基づき加藤防衛庁長官は、六十一年度予算概算要求作業を本格化させるため、早急に五九中業の原案を国防会議に報告したい、と要請した。このため早ければ七日にも国防会議が開かれ、五九中業原案が報告される見通しとなった。

「核実験 即時停止を」

平和都市会議 広島アピール採択

「広島アピール」を採択して広島での会議を閉じた第1回世界平和連帯都市市長会議

被爆四十周年のヒロシマを舞台に開かれた第一回世界平和連帯都市市長会議は六日、広島での二日間の会議を終えた。海外から参加した二十二カ国六十七都市と国内三十一自治体の九十八都市が、核廃絶に向けての連帯を確認した「広島アピール」を全会一致で採択。この会議を今後も常設するため、広島市に事務局を置き、より多くの都市に参加を呼びかけていくことを決めた。八日からは長崎市に会場を移し、第三回国連軍縮特別総会への取り組みなどを協議する。（夕刊一部既報）

連帯強化へ「会議」常設

広島会議最終日の六日は、午後から広島市中区上八丁堀の広島グランドホテルで全体会議を再開。「核軍縮へ都市は何をなし得るか」をテーマに東ドイツ・ベルリン、イギリス・グラスゴーなど十都市の代表が、これまでの平和への取り組みを報告。これを受けたパネルディスカッションでは、核問題研究家の豊田利幸明治学院大教授、矢野暢京都大学東南アジア研究センター教授ら四人のパネリストが問題提起した。核兵器廃絶のためには、都市が核兵器の製造・貯蔵に手を貸さない決意の表明や、国境を超えた市民の交流、都市が連帯して平和への行動を起こすことなどの重要性が強調された。

二日間の広島での討議をまとめた「広島アピール」は、全体会議で活動報告と問題提起を担当した十二都市と主催地広島、長崎両市で協議。最終の全体会議で荒木武広島市長が発表し、全員一致で採択された。

アピールは、ヒロシマの被爆体験を未来への警鐘として受け止め、核実験の即時全面停止を要求。非核地帯の設定や非核都市宣言を支持し、国際世論づくりに都市が努力することを確認している。さらに米ソ両国首脳に核軍縮への努力を求めるとともに、第三回国連軍縮特別総会の早期開催を要請した。

会議を通じて各都市から「都市の連帯を強化するために、会議を継続すべきだ」という意見が相次ぎ、平和都市会議の常設を決定した。今後、会議開催の時期や場所などについて検討する。

広島アピール（要旨）

われわれは、想像を絶するヒロシマの体験を自らの体験とし、過去の単なる一事実でなく人類の未来への限りない警鐘として受けとめ、核兵器廃絶と世界恒久平和への努力を傾注する。

そのためには、非核武装地帯の設定や非核都市宣言を支持し、核実験の即時全面停止と核兵器の廃絶に積極的な行動をし、米ソが核軍縮などでお互いの指導力を尊重し合うことを訴える。

また、協調と相互理解の精神に立って飢餓・貧困の絶滅に努め、国連に対して第三回軍縮特別総会の早期開催を強く要請する。

われわれは、何よりもまず世界の人々、なかでも各国の指導者は広島を訪れ、被爆の実相を知るべきだと訴える。

再び過ちを繰り返さないために、都市と都市、市民と市民との連帯によって、恒久平和のゆるがぬ基盤を築き上げよう。

老朽化進む広島原爆病院

来年度から改築へ

厚相表明

広島市中区の広島原爆病院（弘中哲也院長）が、来年度から本格的な改築工事に入る見通しになった。六日、広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式に出席した増岡厚相が、改築に協力する意向を正式に表明。早ければ来年秋にも着工し、六十二年度中の完成を目指す。

老朽化が目立つ同病院の改築について弘中院長が「抜本的な改築に国も助成してほしい」と要請したのを受け、厚相は「改築には国も積極的に協力したい」と表明。さらに「（来年度予算の概算要求を控え）今の時期を外すと、またもう一年延びる」と述べ、六十一年度から改築に着手したい考えを示した。

これを受けて原爆病院は、広島県、広島市と協議して早急に改築の基本プランづくりを進める。

計画では、特に老朽化がひどい本館と別館を撤去し、跡地に、同じ敷地内の広島赤十字病院と共同で新棟（五―六階建て）を建設。増床はしないが、両病院の診療機能の相互活用で医療の充実を図る。総工費は三十億円前後になる見込み。

広島原爆病院は、日本赤十字社を設置主体として三十一年に本館が開院。続いて四十三年に別館、五十二年に新館がオープンした。ベッド数は現在、百七十床。運営は、国、県市などでつくる運営委員会があたり、被爆者治療の中心的な役割を果たしている。

天風録

たまたまきのう、風変わりな被爆体験記を手にした。日・英・エスペラント三語からなる小冊子（三十六ページ）である。出版に奔走した埼玉のエスペラント・グループの方が、急いで送り届けてくださった。ちょうど四十年目。奇縁というよりない▲表題に「Memuaro pri Flamoj― 炎のメモワール」とある。ご存じの方もあるだろう。小野英子さんの著作がもとになっている。こんどの小冊子は、著作中の母信子さん（故人）の英文による体験記を、そっくり和訳、エスペラント訳にしたものだ▲「人びとはすでに原爆について忘れ去ったかにみえる。本当に忘れることができたら、どんなにいいことか」。夫と娘（英子さんの姉）を送り出した明るかった朝。暗転、行方知れずの夫。眠るように横たわっていた娘。ぼう然と英子さんの手を引き、入水。思いとどまるまでの四日間▲この記録を埼玉の梅田節子さんが目にとめる。これも奇縁だろう。主宰するエスペラント・グループは五、六人のささやかな団体だ。「これならできそうだ」と記録の対訳を始めたという▲エスペラント仲間のアメリカ人に呼びかける。ニュージーランドの人に呼びかける。打てば響くような反響が返ってくる。こちらでは、手分けをしてタイプを打つ。校正をする。もちろん、みんな手弁当である▲小冊子は全米エスペラント網に乗せ、図書館、学校に送るという。国内にも希望者には頒布（五百円）する。埼玉県新座市栗原6－3－17石田方、グループ・ステリードイ（エスペラント語で星のことも）へ。

もう一つの京の旅
京都・味の老舗
駒敏郎著　定価2,200円
京都に息づく伝統的な秘伝の味とご主人の心意気を探る異色のオールカラー版
鎌倉書房

女性は生き方で美しくなる
マダム 9月号
定価六八〇円／鎌倉書房刊
秋に欲しい服&小物100
クラシックなシャツドレス
秋のおしゃれメッセージ 花井幸子、吉田ヒロミなど4人の女性デザイナーの作品から
いま重宝する日常着 エンジョイソーイング
ソフト・スーツを縫う 洋裁セミナー
水沢アキさん
特別企画 豊かな老後をむかえるには 年金・老後資金の貯め方から健康・栄養まで
瀬戸内晴美とアンナ・カレーニナ 読む世界名作
今夜は魚料理！
4人前・2千円の献立集
美容 秋はショートカット
（連載）阿刀田高／佐藤愛子／澤田ふじ子／重兼芳子…ほか
特別付録 新・冠婚葬祭ノート 町田貞子

ミセスのスタイルブック 秋 作り方つき
〈特集〉集う日の優雅な装い
〈特別企画〉すてき！おしゃれの極みはオーダードレス
発売中●定価750円
文化出版局

ミセス 9
九月号発売！
定価六八〇円 文化出版局
毎日の暮しを美しく――が編集部の願いです。
【特集】クラシックに、フェミニンに 新鮮で心豊かなミセスにふさわしい服を 秋の服は女らしさが魅力
五人のデザイナーの東京コレクション
フェミニンシャツコレクション・20
シルク糸で編む、贅沢 デリケートな素材を生かして…
南蛮唐草（きもの十二か月長月）浦野理一
【料理】世界各国、米料理自慢 大里成子／酒見フジコ／李菊子
青魚がおいしい 鈴木登紀子
【リビング】ライフステージに合わせたマンション改装法 壁面家具で暮しやすさを演出する
知的自分世界のつくり方
【旅】黒井千次 千鶴夫妻の山陽路、美術巡り
第三回ミセス童話大賞第三次選考通過作品発表！
【家に台、火の車 桜田淳子（女・有情無情）… 邱永漢 早瀬圭一
朱夏の女たち【連載小説】五木寛之
●連載● 大岡信／堤邦子／稲葉賀恵／川湊サチコ
今月の表紙の人 大原麗子さん